

## 【第20回 オーライ！ニッポン大賞表彰式】を開催しました

### 第20回 オーライ！ニッポン大賞表彰式& セミナー「関係人口づくり」の最先端



オーライ！ニッポンがはじまった 2003(平成 15)年というのは、新型肺炎 SARS が流行し、養老孟司先生の「バカの壁」(新潮新書)が 4 月 10 日販売(その後450万部)されベストセラーになった年です。景気も悪く、完全失業率 5.4% の当時の過去最悪であり大卒就職内定率 60% の過去最低の就職氷河期でした。

そこで、小泉(純一郎)内閣は、「民間でできることは民間に」、「地方でできることは地方に」の基本的立場に基づき、「聖域なき構造改革」に精力的に取り組み、公共事業を 2002(平成 14)年度予算から思い切った「選択と集中」を図りました。

そして、2004(平成 16)年度予算からは、新たに導入された政策群の中に「都市と農山漁村の共生・対流の推進」が総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省の共通政策目標として、掲げられ【都市と農山漁村を双方向で行き交うライフスタイルを実現】する施策の支援が展開されました。

その取組の成果として優れた事例を世の中に広く紹介する目的によりオーライ！ニッポン大賞が始まりました。一言でいいうなら、都市生活と田舎暮らしの二重生活のススメです。人間が動物として本来持っていた感覚能力を取り戻すために、田舎暮らしをして、自然そのものとつきあうことを進める運動です、1年に1か月でも良い、廃屋を借りて少しずつ修理して暮らしても良いし、農家や山の仕事を手伝っても良い、都市生活者は自然と向きあうことで衰えた感覚を回復することができる。都市と田舎の往来を進めて、人間も日本も元気に Allright(オーライ)になろうという国民運動です。今回素晴らしい取り組みが選ばれました。

10月31日(金)13:30～17:00

東京コンベンションホール 大ホールB 東京都中央区京橋三丁目1-1 東京スクエアガーデン 5F 東京コンベンションホール

主催:オーライ！ニッポン会議、協賛／協力:一般財団法人都市農山漁村交流活性化機構

### ●●●プログラム●●●

第一部 13時30分

- ①主催者挨拶 オーライ！ニッポン会議 副代表 平野啓子
- ②来賓挨拶 農林水産省 農村振興局 農村政策部都市農村交流課長 廣川正英 氏



③表彰状等授与

④記念撮影



## 第20回受賞者記念撮影

前列左から

- ・平野オーライ！ニッポン会議副代表
- ・【大賞】特定非営利活動法人 ASO 田園空間博物館 道の駅阿蘇
- ・【大賞】特定非営利活動法人 鳴子の米プロジェクト
- ・養老オーライ！ニッポン会議代表
- ・【グランプリ】特定非営利活動法人 SET
- ・廣川農林水産省農村振興局農村政策部都市農村交流課長
- ・【大賞】特定非営利活動法人 きみの定住を支援する会
- ・【審査委員長賞】ノートルダム清心女子大学 × 百姓のわざ伝承グループ
- ・【審査委員長賞】やったろう de 高島

後列左から

- ・嵯峨オーライ！ニッポン会大賞審査委員
- ・金子オーライ！ニッポン会議運営委員長
- ・【ライフスタイル賞】石坂 真悟氏
- ・【ライフスタイル賞】今井 亮輔氏
- ・【審査委員長賞】特定非営利活動法人 頬娃おこそ会
- ・【ライフスタイル賞】黒川 喜美恵氏
- ・【ライフスタイル賞】渡辺 睦郎氏
- ・竹本オーライ！ニッポン会大賞審査委員長
- ・須藤(一財)都市農山漁村交流活性化機構理事長
- ・嵩オーライ！ニッポン会大賞審査委員

⑤副賞の目録授与 (一財)都市農山漁村交流活性化機構理事長 須藤徳之

⑤ 記念講演 オーライ！ニッポン会議代表 養老孟司



## 第2部 15時00分

### ア. 3分スピーチ(受賞者の活動内容等の紹介)

#### 【オーライ！ニッポン大賞グランプリ】内閣総理大臣賞1件

1. 特定非営利活動法人 SET(岩手県陸前高田市)

#### 【オーライ！ニッポン大賞】3件

2. 特定非営利活動法人 鳴子の米プロジェクト(宮城県大崎市)
3. 特定非営利活動法人 きみの定住を支援する会(和歌山県紀美野町)
4. 特定非営利活動法人 ASO 田園空間博物館 道の駅阿蘇(熊本県阿蘇市)

#### 【オーライ！ニッポン大賞審査委員会長賞】3件

5. ノートルダム清心女子大学 × 百姓のわざ伝承グループ(岡山県高梁市)、
6. やったろう de 高島(長崎県長崎市)、
7. 特定非営利活動法人 頬杖おこそ会(鹿児島県南九州市)

#### 【オーライ！ニッポン ライフスタイル賞】4件

8. 今井 亮輔(いまい りょうすけ)氏(北海道壮瞥町)
9. 石坂 真悟(いしざか しんご)氏(山梨県小菅村)
10. 黒川 喜美恵(くろかわ きみえ)氏(徳島県阿南市)
11. 渡辺 睦郎(わたなべ とくろう)氏(長崎県西海市)

### ①【グランプリ】特定非営利活動法人 SET



### ②【大賞】特定非営利活動法人 鳴子の米プロジェクト



CSA(地域支援型農業)により山間地域の農が持続可能に  
観光客がピークの半分200万人にまで減少。農業を辞める農家が増え、耕作放棄地が増加し、鳴子温泉の農村風景も失われようとしていた。鳴子の田んぼや農村風景、暮らしを守るために、平成18年に鳴子の米プロジェクトがスタート。CSA(地域支援型農業)を実践、山間地域の農を持続させている。  
また、食から農を考えるため、女性たちが働く公式おにぎり屋「むすびや」をスタートさせ、農と食の大切さを発信する拠点となっている。

### ③【大賞】特定非営利活動法人 きみの定住を支援する会



#### 移住前後の相談・支援が厚く人間の温かみがある

官民協力のもとワンストップパーソンを設置し、19年間きめ細かな案内相談に取り組み地域に移住した人は215人。移住後に生まれた子どもも30人ほどになり、過疎化、高齢化が進む農山村地域の担い手となっている。移住者の創業による経済効果は年間約2億円。地元の農産物を利用して飲食業や宿泊業を起業する者、農業を始めて耕作放棄地の再生に取り組む者、高齢農家の農作業を助ける者も生まれている。

### ④【大賞】特定非営利活動法人 ASO 田園空間博物館 道の駅阿蘇



#### 屋根のない博物館、観光、ボランティア活動、そして道の駅と発展拡大

地域全体を屋根のない博物館と見立てた田園空間博物館事業を継続させながら、道の駅を指定管理者として運営。地域行政、農業、観光、ボランティア等と連携する運営体制により、地域特産品販売、商品開発、地域住民との連携等の改善が進み地域経済及びコミュニティの核として活躍している。業績が低迷していた該当施設を発展させただけではなく、地域のボランティアと連携した地域散策イベント「阿蘇市をさるこう!」や留学生や台湾の人々と継続的に行っている国際交流事業、阿蘇の風景と特産品を楽しみながら行うサイクルツーリズム、阿蘇の草原を活用した牧野ガイドなど、従来の道の駅にない多くの関係人口を増加させる事業を実施している。



### ⑤【審査委員会長賞】ノートルダム清心女子大学 × 百姓のわざ伝承グループ



#### 一時はすたれかけた茶畑が大学との交流により拡大

岡山県の北西部に位置する高梁市では、2013年以降、百姓のわざ伝承グループの荒廃茶園再生活動によって、高梁紅茶専用の茶畑が拡大した。文学部現代社会学科の二階堂ゼミでは、フィールドワークの体験を通して、地域課題の実態を多角的に学びつつ、課題解決に向けた主体性や実践力を培うことをめざしており、その一環として、当初からこの活動に応援隊として関わっている。

⑥【審査委員会長賞】やったろう de 高島



サンゴや熱帯魚のある環境を生かしたシュノーケリングピクニック  
軍艦島に最も近い有人島(離島)。石炭の閉山により人口1万8千人から234名の過疎と高齢化の歯止めのかからない地域、美しい海の生物資源を活かしたエコツーリズムを地道に展開し、コロナ禍を乗り越え、やっと自然教育の最適の場として効果を上げてきている。

⑦【審査委員会長賞】特定非営利活動法人 頬杖おこそ会



⑧【ライフスタイル賞】今井 亮輔(いまいりょうすけ)氏



昔から、豊かな資源を持っている県が太好きで、田舎の豊かさを守っていきたい、そのためには都会生活者の需要と、田舎の豊かな資源を結びたいと考えていた。40歳を前に、洞爺湖畔でほんやりと湖に移る雲や中島を眺めている時に「さがに住みたい!」と強く感じ、自然派ワインやチーズなどを集め、地域の農作物や加工品、観光資源といった豊かな資源を楽しんでもらうことで、都会生活者とのよい循環が生まれると考えて2021年11月に地域おこし協力隊に着任し、2022年8月には地域の方々の協力も得ながら無事に「ヨツカド商店」というワインやチーズなどの小売店兼カフェをオープン。

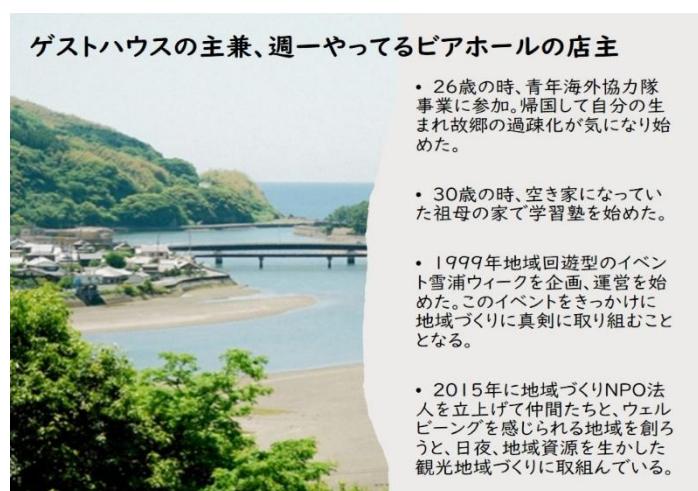
⑨【ライフスタイル賞】石坂 真悟(いしざか しんご)氏



⑩【ライフスタイル賞】黒川 喜美恵(くろかわ きみえ)氏



⑪【ライフスタイル賞】渡辺 睦郎(わたなべ とくろう)氏



## イ. 講評

竹中 田持 オーライ！ニッポン大賞審査委員会長



第20回 オーライ！ニッポン大賞 表彰式

## 関係人口づくりの最先端 マッチングとコーディネートの再定義

2025年 10月 31日  
嵯峨 生馬／島根県川本町在住  
認定NPO法人 サービスグラント ファウンダー

ウ. セミナー「関係人口づくりの最先端」  
講師：特定非営利活動法人サービスグラント  
ファウンダー 嵯峨 生馬 氏

今後、高齢化、人口減少がさらに加速し、人という資源の圧倒的な不足が見込まれる中で、各地域内のみならず、地域と都市の人と人が、いかに共助の仕組みでつながることができるのか。関係人口づくりにおいても、課題共有ができるコアな層を増やすことができるふるさとプロボノ、その実践事例について、セミナーを開催



# 「プロボノワーカーの募集」ふるさとプロボノによる地域活性化支援途中経過！

## ふるさとプロボノによる地域活性化支援

第20回オーライ！ニッポン大賞の応募の特典として、初めてチャレンジした「ふるさとプロボノとの連携」については、具体的な進め方の2回のオンライン会議の後、それぞれの応募者の課題等のニーズに基づき、認定NPO法人サービスグラン트と連携しふるさとプロボノの支援を実施しています。

プロボノとは一般の社会人が職業上のスキル・経験を活かしたボランティア活動を行うこと。このプロボノの農山漁村地域での活動を「ふるさとプロボノ」と言います。

この支援方法は、地域活性化には、交流人口増加だけでなく、関係人口増加の重要性が高まっていることを背景に、この都市からのボランティアを仲介するプロボノ活動は、関係人口づくりの新たな切り口として期待されています。

ふるさとプロボノ支援実施には、当初の相談活動、意思の疎通が行われることが課題であることから、この業務に精通している認定NPO法人サービスグラン트のふるさとプロボノと連携実施事業として、都市からの専門家を講師として「どのようなことを地域が望むのか」「課題解決にむけて地域がどう実施したいのか」等のオンラインワークショップの実施や相談活動を実施いたしました。そして具体的にプロボノワーカーの募集から手始めに動きははじめております。

今回は、今まさにプロボノワーカーの募集をはじめようとしている様子をご紹介します。

### ①【業務フロー可視化と改善提案】

★きみの地域づくり学校運営協議会 <https://grant.community/projects/1438>

### ②【活動概要・実績・強みをまとめた事業紹介資料の作成】

★いえしまコンシェルジュ株式会社 <https://grant.community/projects/1364>

### ③【クラファン事前販売用のページ作成支援】

★NPO法人 雪浦あんばんね <https://grant.community/projects/1288>

高齢化、人口減少がさらに加速し、人という資源の圧倒的な不足が見込まれる中で、各地域内のみならず、地域と都市の人と人が、いかに共助の仕組みでつながることができるのか。関係人口づくりにおいても、課題共有ができるコアな層を増やすことができる「ふるさとプロボノ」が動き出しています。

なお、プロボノは、「仕事の経験・スキル等をボランティアとして提供し、社会課題解決に成果をもたらすこと」と定義しています。

プロボノは、ボランティア活動の一種であり、原則として「無償」で、地域活動やNPOの活動を支援するものです。

報酬や作業の対価といったものは無償なのですが、ふるさとプロボノの場合、遠方からの移動が発生する際に、交通費を(一部でも)補助するといったことがある

るとプロボノワーカー側の負担軽減になり、より手が挙がりやすくなります。

・ふるさとプロボノを実施したい方は、下記へ相談連絡ください。

認定NPO法人 サービスグラント 嵐山 生馬(ファウンダー)

[saga\\*servicegrant.or.jp](mailto:saga*servicegrant.or.jp) \*を@に置き換えて連絡ください。

・オーライ！ニッポン大賞や地域活性化については、下記へ相談連絡ください。

オーライ！ニッポン事務局 [alrightnippon\\*kouryu.or.jp](mailto:alrightnippon*kouryu.or.jp) \*を@に置き換えて連絡ください。

